

オーストラリアにおける 再犯の減少と 社会インパクト投資

第3回世界保護観察会議 2017年 日本

ローズマリー カルアナ
オーストラリア ニューサウスウェールズ州矯正局次長
2017年9月

社会インパクト投資の背景事情

- 社会インパクト投資は、再犯防止戦略強化の一環として実施されている。
 -
- 地域社会において犯罪者を管理するうえでの最大の焦点は、再犯防止と地域社会の安全である。
- 犯罪者管理は、オーストラリア内外の実証的根拠に基づいて実践されている。
- 実践の対象には、RNRの原則（Risk、Need、Responsively）や再犯が地域社会に及ぼす影響の他、RNRと再犯の影響を組み合わせた明確な業務遂行基準が含まれている。

指導監督の 社会内処遇実践モデル

- 指導監督は、実証的根拠に基づいて行う。
- 対象地域における再犯リスクと再犯数を組み合わせて実践する。
 - 監督指導とは、「介入」と「観察」を行うことである。
- 再犯リスクに応じて「介入」の密度を決定し、再犯数に応じて「観察」の密度を決定する。
 - 保護観察官の支援ツールを開発し、基準を明確化する。

地域社会内での指導監督
...「有効性」を裏付ける実
証的根拠...

RNRモデルは有効である。

指導監督の第1要因は以下のとおり。

- 対象者：再犯リスクが極めて高いと評価された犯罪者
 - 対象要因：犯罪意思と犯罪行為を誘発する因子
- 方法：介入業務指針（新）、犯罪歴に基づくグループプログラム（EQUIPS）、政府機関と非政府機関への委託
- これらの要素を考慮して犯罪者への「介入」密度を決定する。

地域社会内での指導監督……応答性と保護要因

本管理指導モデルにおける精神的健康と認知障害の位置付け

- 対処を要する応答性としての側面
- これらの問題に個々に対処しても、犯罪行動の改善は期待できない

本モデルにおける住居・雇用・教育の位置付け

- 保護要素
- 住居・雇用・教育の問題に個々に対処しても、犯罪行動の改善は期待できない

上記業務は、他の行政機関や非行政組織が担当する。

地域社会内での指導監督… 再犯状況

再犯状況

社会内処遇における指導監督の第2要因

- 再犯が地域社会に与える影響を評価したうえで、「観察」の密度を決定する。
- 裁判所命令に応じて観察の密度を決定する（例：仮釈放か、それとも社会内処遇命令か）
- 犯罪者との連絡、家庭訪問、当局への報告、薬物テスト、第三者チェックについての頻度を定める基準および業務提供者は、再犯「率」に基づいて決定する。

上記をすべて一体的に行った場合の、地
域社会内での犯罪者管理への影響

前科または違反数（CIA）	多い	前科が多い 高密度の観察 再犯リスクが低い 低密度の介入	前科が多い 高密度の観察 再犯リスクが中程度 中密度の介入	前科が最も多い 最高密度の観察 再犯リスクが最も高い 最高密度の介入
		前科が中程度 中密度の観察 再犯リスクが低い 低密度の介入	前科が中程度 中密度の観察 再犯リスクが中程度 中密度の介入	前科が中程度 中密度の観察 再犯リスクが中程度 中密度の介入
		前科が少ない 低密度の観察 再犯リスクが最も低い 最低密度の介入	前科が多い 高密度の観察 再犯リスクが中程度 中密度の介入	前科が少ない 低密度の観察 再犯リスクが高い 高密度の介入
	少ない			
		低い	中程度	高い
再犯リスク（LSI-R）				

社会インパクト投資：
犯罪者を対象とした支援業務

社会インパクト投資

- **社会インパクト投資**とは、新しい業務締結の形である。
- これは、社会奉仕活動の契約を締結し実施する革新的な手法である。
- 公共セクター、民間セクターおよび第三セクターの資本と専門性を集結させ、より大きな成果を得るものである。
 - 投資により、実施業務に要する費用が捻出される。
- オーストラリアにおける最初の**社会インパクト投資**は、仮釈放者の再犯による収監を防止することを目的として行われた。
 - 2019年までに再犯を5%減らすという政府の宣言に貢献している。

再犯防止のための**社会インパクト投資** ……OnTracc

- 非営利団体ACSOとArbiasがパートナーシップを組み、OnTraccによる業務を提供する。
- 運転資金については、ナショナル・オーストラリア・バンク（NAB）とACSOの共同投資により支援を得る。
 - NABとACSOが得るリターンは、OnTraccの実績により決定する。
 - 再犯リスクが高い受刑者の出所（仮釈放）を支援する。

再犯防止のための**社会インパクト投資** ……OnTracc

- 今後5年間で、3,900人の仮釈放者に対する支援を行うことを目標とする。
 - 2016年9月1日に開始されている。
- OnTraccは、再犯リスクが中～高程度の成人の仮釈放者に対する業務提供を強化する。
- OnTraccは、再犯率および最収監率の低下を目指して行われている既存業務を補完するとともに、これに敬意を表するものである。
 - 支援業務は仮釈放後の16週間を対象とする。
 - 業務提供は、社会内処遇と協力して行う。

社会インパクト投資と他の行政契約との違い

- 入札要請（RFT）：
 - 規範に基づかず自由に業務提供できる。
 - 革新を提供する。
 - 「問題」解決策提供のため提案者を招く。
- 段階的な共同開発により、以下の機会を得られる。
 - 業務範囲の開発支援に役立つ追加のデータを得る。
 - リスクの理解が深まる。
 - 業務／ビジネスモデルの改良に関する業務や費用を調整する。
 - 成果と報酬に関する予定を策定し調整する。
 - 相互に契約を締結するという合意に達する（場合によっては締結しない）。
- リスクは全当事者が負う（例：政府、業務提供者、投資家）。
- 報酬は成果ベースである。
- 成果に対する評価-再犯の減少

社会インパクト投資の協議に求められること

- 複数当事者が協議の際に対立するほど、協議は複雑化する。
- 全当事者にとってリスクが高いほど、協力体制は強まる。
- 全当事者間に、より強い信頼関係を築くことが求められる。
- 全当事者間において真のパートナーシップを築く。
- 協議に参加する各当事者には複数の利害関係者がいる。
 - 政府：3つの関連主要機関
 - 業務提供者：3つの機関

社会的成果に対する評価

- 再犯防止が「社会的成果」として評価される。
- 同等の対照群を用意する。
- 「処遇群」の再犯率と「対照群」を比較する。
- 上記の再犯率は、共同開発段階で協議された後、契約の一部を構成する。
- 社会的成果の達成と成功（再犯防止）：
 - 政府は、業務提供に要した初期投資費用を償還し、本プログラムにより得られた財産上の純利益を分配する。

社会的成果に対する評価

- 5つのグループの犯罪者が、12カ月間、OnTraccに委託されるが、評価は個別に行われる。
- プログラムの実績は、各グループの犯罪者達の、出所後12カ月間の再収監率によって評価される。
- 投資利益率は実績に基づき算出する。
- NSW州犯罪統計局が本プログラムを評価する。

社会インパクト投資……12カ月

- NSW州犯罪統計局は、委託する犯罪者と対照群を無作為に割り当てる。
- 割り当ては目標数に基づき行う。
- ガバナンス体制の構築：
 - 毎月役員レベルで会議をする：業務上の問題に対処し、各機関の橋渡しをする。
 - 3か月ごとに幹部レベルで会議をする。
 - 役員と幹部レベルで問題解決に向けた会合を行う。
- 最初のグループの実績評価は、2018年12月に行う。

要約… 社会インパクト投資

- サービス提供のための融資の新たなモデルを政府に提案するものであり、社会サービスの新たな資金調達と実践方法となるものである。
- 公共セクター、民間セクターおよび第三セクターの資本と専門性を集結させ、より大きな成果を得る革新的方法を提案するものである。